

令和2年9月号

さいたま支部通信



〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区682番地2 JACK大宮
さいたま市宇宙劇場内事務局(齋藤・小田・佐々木・椎原)

TEL:048-647-0011 FAX:048-647-0066
<http://www.ucyugekijo.jp/>

【9月の活動予定】

活動日	場所・時刻	活動内容等
9月5日(土)	宇宙劇場5階 17:45~ ※定員 30名	○天体観望会「火星と土星」 シリウス 見頃を迎えた木星と土星を観望します。木星は明るさマイナス2.5等級、土星は0.3等級と日没後南の空にひとときわ明るく輝いています。活動時間には間に合いませんが、午後8時過ぎには地球に接近しつつある火星もマイナス1.9等級の明るさで東の空からのぼってきます。気流の安定しているこの時期は惑星の観察に適しています。まだ、夏の暑さが残っていますが、木星表面の模様と土星の輪の様子を観察してみましょう。 <u>申し込みは、終了しました。</u>
9月27日(日)	集合：春野小学校前 9:30 JR 東大宮駅東口発 国際興業バス(アーバンみらい先回り) 8:55、9:10で「春野小学校」前に着 9:07、9:23 着	○自然観察会「深作沼ってどんなところ？」 ペガサス ～アーバンみらい東大宮周辺で秋の自然観察～ 深作から七里へ <行程> 春野小→深作川多目的遊水地→観音寺下公園→春おか広場→七里駅 ※解散：アーバンパークライン七里駅12:30 <u>※申し込みは、9月20日(日)までに。</u>

※コロナの感染状況によっては、活動が中止になることがありますので、YACのHPを活動前に必ずご覧ください。

化石のレプリカ作り

～太古の生物を探る～

8月29日(土)、団員35名(1回目18名、2回目17名)が参加して化石のレプリカ作りが行われました。

最初に、高後分団長から科学研究のため、昆虫や植物の標本が資料や証拠としての意義を持つことや化石のレプリカの作り方を教えて頂きました。



前半の活動では、高後分団長が用意しておいた6種類の化石のレプリカから自分の化石を選び、色付けを行いました。

化石の種類は、サメの歯、デイノニクスの爪、ホラアナグマの歯、三葉虫、ウミユリ、アンモナイトなどです。子ども達は、化石が発掘された当時の雰囲気を出すために色の工夫を行っていました。

次に、子ども達に那須塩原産の「木の葉化石」の原石が配られました。「木の葉化石」の原石は、今から約30万年前(第4紀更新世中期)に塩原温泉付近にあった塩原化石湖に堆積した地層のものです。原石をよく観察するとバームクーヘンみたいに濃淡の違う層が積み重なっています。この層の色の濃いところがねらい目です。子ども達は層の境目にマイナスドライバーをあて、慎重にハンマーでたたいていました。化石が見つかったと「やった。」と歓声を上げて喜んでいました。2年生のSさんは、「30万年前の葉の化石がきれいに残っているのびびっくりしました。」と感想を述べてくれました。高後分団長、化石のレプリカ等のご準備ありがとうございました。



☆さいたま市は、縄文時代 海だった

(7000 年前～6000 年前)

埼玉県は海なし県ですが、大昔は海と半島でした。縄文時代の約 7000 年前～6000 年前のことです。この頃の地球では、最終氷期の最寒冷期から始まった海水面の上昇が続き、日本など氷床から遠く離れた地域でも 100m 以上の上昇となりました。このことを**縄文海進**（じょうもんかいしん）といいます。地球の温暖化によって海面の高さが高くなり、今の東京湾が群馬県の南東部まで達していました。さいたま市は、大宮台地がありましたので、ちょうど東京湾に突き出した半島でした。その証拠としてさいたま市には、今でもたくさんの貝塚が残っています。YAC の活動で南浦和の大谷場貝塚や春日部の花積貝塚を見学しましたね。

縄文海進は、約 6500 年前をピークに今度は、徐々に後退し、約 5000 年前～4000 年前ごろには、海岸線が現在の地形に近くなっていきました。このことを**縄文海退**（じょうもんかいたい）といいます。なぜこのような現象が起きたのかは、まだよくわかっていませんが、地球の温暖化で氷河が解け海面の水位が上がるだけでなく、大陸の重量のバランスが崩れたのではないかと考えられています、

このメカニズムは、大変複雑ですね。いずれにせよ**縄文海進**、**縄文海退**によって海なしの埼玉県、さいたま市が生まれたのです。



☆野口宇宙飛行士、クルードラゴン

(アメリカの民間有人宇宙船) に搭乗へ

8 月 15 日、NASA はスペース X 開発の宇宙船（クルードラゴン）に野口聡一宇宙飛行士が搭乗し、およそ 6 ヶ月の国際宇宙ステーション滞在ミッションを行う予定だと発表した。クルードラゴン 1 の打ち上げは 10 月 23 日以降に。

これまで国際宇宙ステーションへの飛行士の輸送手段は、ロシアのソユーズだけだったがアメリカのクルードラゴンの登場で輸送手段が増え、宇宙ステーションの利用が活発になりそうです。

また、野口さんは今回の搭乗でシャトル、ソユーズ、クルードラゴンと 3 種類の宇宙船に搭乗する世界で初めての宇宙飛行士となった。帰還後は、宇宙船の違いについて聞いてみたいような気がします。（齊藤）

☆9月の星空カレンダー

9 月は、火星に注目。うお座にとどまり、秋の星空に彩りを添えている。6 日から 7 日にかけて火星のそばを下弦前の明るい月が通り過ぎていく。また、宵の南の空では、土星と木星が仲良く並んで見える。下旬には、この二つの惑星には、上弦を過ぎた月が近づきます。今月は、火星と木星、土星に注目。

- 2 日 満月
- 10 日 下弦
- 17 日 新月
- 22 日 秋分
- 24 日 上弦

○9月のできごと

- ・1992 年 9 月 12 日 毛利宇宙飛行士が初めてスペースシャトル「エンデバー号」に搭乗

○第2回運営委員会のお知らせ

- ・日時 9 月 20 日（日）午前 10 時
- ・場所 宇宙劇場 5 F 研修室
- ・内容 今後の活動計画について